新人のプロフィール (2)

自己管理

教育農林統計
谷田部　久　夫

毎日の日課となっていたランニングをやめなければならない状態に陥ってしまったのである。それは，今から3年前の冬の出来事までさかのぼる。冬の花形スポーツといえば，なんと言ってもスキーであろう。私も職場の若い仲間達と山形蔵王へ行った。なにせ初体験，心身共にうきうきしないではいられない状態だった。午後になり，少々慣れてきた頃，あまりの飛躍に一瞬体のバランスを崩し，複雑にころんでしまった。幸い骨折もなく，左膝に軽い痛みを感ずる程度ですんだ。事なきを得たので，気をとりなおしそのまま滑り続けた。翌朝になり，昨日の痛みが残っていたにもかかわらず，スキーの虜になってしまった。技はともかく楽しくてしようがなかったのである。

その頃，私は同じ職場のある人の影響というか勧めもあって陸上部に入り，退勤後には自主トレーニングをしていたのである。スキー帰り後も，さっそくいつものようにランニングを開始した。しかし，やはりスキーでの後遺症は残っていたのである。ロード中心なので，走り始めはゆっくり，後半はスピードを上げて行かなければならないのに，いっこうに脚が進まない。「おかしいなぁ，こんなはずではなかったのに？」膝の痛みのせいであることは明らかだったが，練習をすれば徐々に回復するのでは，というあまい判断をしていたのである。今想うに，その時適切な処置をしていればと自己管理の不徹底さにあきれている。底の厚い靴に厚めの靴下。しかし，いっこうに変化なく，痛みを押し切って大会などにも参加した。そしていよいよ走れなくなり病院へ。関節炎といわれ水をぬき，もう過激な運動は無理と診断されてしまった。自己の血液型形質にさらに自己の持つ強情さが輪をかけ，若さにおぼれ体を酷使し自分を過信していたようだ。ああしまったという無念の意だけが残る。

「動」が芳しくないなら「静」があるさということで，書の世界の一隅にかじりついている今日この頃である。

夕暮れ

人口消費統計
大　籠　広　行

日中さんさんと照りつけた太陽が西の空に傾きかけ，どこから生じたのか，風が木々の梢・葉を揺らしながら，自転車に乗る私の汗ばんだ肌の上を通り抜けて行く。

団地に入ると，井戸端会議ならぬ花壇前で集い語らう母親たち，自転車を乗りまわし，遊びに打ち興じている子供たちの姿・声……。

帰宅すると，半年になる長男が笑いかける。

水分を奪われぐったりしているヴェランダの草花に，たっぷり水をかけてやる。

長男をだっこして戸外へ出ると，気持ち良さそうに笑い声を発しながら手足をばたつかせる。

広場へ行くと，乳児を乳母車に乗せてあやしながら散歩している老母。大きな紙袋を下げて夕食の買物から戻る女。ベンチの上で，裸になって竹竿で遊んでいる男の子……。

遠くから豆腐屋のラッパの音……。

空を見上げていると，どういうわけか，トンビが東の空へ帰っていく。

空が段々薄暗くなり，まわりの喧噪をよそに，日は暮れていく。

今晩はウィスキーにでもしようかな。

高校野球

庶務
吉　成　武　久

汗のしたたる夏。それは私にとって高校野球の季節に他ならない。炎天下にくりひろげられる熱戦は私の心に久しく忘れている感動を呼び起こす。―― アウトだとわかりながらも果敢にヘッドスライディングする選手。レギュラーになれなかった選手が甲子園で放ったたった1本の代打ヒット。数々の場面に青春の完全燃焼を見る事が出来る。

しかし，私の心は甲子園のスターよりも地方予選で戦う高校球児により心が引かれる。ストライクの入らない投手。外野フライをポトリと落とす選手。しかし彼らは涙を見せても白い歯は見せない。―― それで良いのだ。高校野球にプロ野球のプレーを求めたりはしない。

私はかつて高校野球は単に〝高校生がやる野球〟としかみていなかった。そんな私がある夏，野球場に足を運んだ時，その時から高校野球は私にとって単なる野球ではなくなった。母校愛，郷土愛を培う大きな媒体と変化したのだ。しかし，その情熱もいつしか風化していった。今の私は1人1人の選手の真黒に日焼けした顔にキラキラと燃える瞳をみることが出来ればそれで十分だ。

只今 食いっ気

企画指導
斉 藤 幸 志

勤めはじめてはや4ヵ月，日曜日の有難みがよくわかります。日曜日といっても，何をするということもなく過ごしてしまうのですが，のんびりと料理の本と首っぴきで食事をつくり，それを食べることをもっかの楽しみとしております。食べ物のことを考えていると満足できるというか，くつろげるので，「趣味は？」と聞かれたら「食べること」と言いたいのですが，それでは芸がないので「料理(クッキング)」と答えるのであります。とはいえ，食事をつくるのも食べることと同じくらいの楽しみがあるものでして，創造する喜びを満足できるのと同時に企画能力を養えるのではなかろうかと思っております。というのは，栄養のバランス，カロリー，色彩，味等を考慮して自分の一番食べたいものを作るのですから。種々の材料を選び，それを加工して，完成させるわけです。その過程においていろいろな試みができ，その結果がすぐでる，そしてそれを次回の反省材料とすることができるというのも料理ならではの面白い点ではなかろうかと思うのであります。とはいっても，毎回毎回作るたびに味が微妙に違ってきます。それがまた楽しみの1つ，当分は続きそうであります。

フランス人などは料理を食べることを人生における最も大事なこととしていますが，それにくらべると日本人の食生活なんてまだまだ原始的なものでしょう。たとえばアチラでは，サラリーマンやOLが昼食をとるにもテーブルにちゃんとワインを1本，オードブルから始めて魚か肉料理，そしてデザートまで2時間もかけてじっくり味わっています。日本だとまだまだそうはいきません。お茶漬サラサラ，ラーメンつるつる，ハンバーガーもぐもぐ，カレーライスぺちぺちというわけで昼食に5分もかからないケースだって多いようです。

最近は，植物性たんぱく質，魚介類,…etc の摂取等の点から日本人の食生活が見なおされ，欧米においてもそれなりの評価を受けています。それでも，そもそも食べることへの態度には相当の考えの相違があるように思われます。

先日，『料理長殿　御用心』という映画をみましたが，映画の主人公のひとりであるマックス(ロバート・モーリー)は百キロを超える肥満体。しかし，医師から少し身体を削らないとあと半年の命ですぞと驚かされたとき，彼は胸をはってこう言うのです。「芸術の中で最も洗練されたものは料理だ。私の身体は創造力に富む天才料理人が惜しみなくその腕をふるうカンバスなのだ。私のシワも，アゴも，ヒダも，すべて彼らの作った料理の産物だ。私は生きた芸術品だ。私は自分の身に肉がついてくると胸がわくわくするのだよ」と。

以下の方々については，質問形式によってプロフィールを紹介していただきました。質問の内容は，次の①から⑤までです。

① あなたの趣味，特技は？
② あなたの好きな言葉，格言は？
③ あなたの印象に残っている本は？
④ あなたが最近やりたいと思っている事は？
⑤ あなたが「統計」という言葉から連想するものは？

庶務
渡 辺 仁 子

① ハイキング・映画鑑賞
② 「少年よ大志をいだけ」
③ 新田次郎『聖職の碑』，吉川英治『新鷹』
④ 英会話，料理
⑤ 計算・数学

企画指導
関　　千 代

① 音楽・絵画鑑賞
② 「七転八起」
③ 吉川英治『宮本武蔵』
④ 家族に喜ばれる料理をつくりたい
⑤ 調査

教育農林統計
小河原 恵 子

① 特になし(習字)
② 「いつも心に太陽を」
③ ウェブスター『あしながおじさん』
④ スポーツ(バドミントン)
⑤ 計算・数学

人口消費統計
仲 田 綾 子

① 特になし(インベーダーゲーム)
② 「なせばなる。なさねばならぬ何事も。」
③ 宮沢賢二『銀河鉄道の夜』
④ 日本の旅行
⑤ 図・表